

約2倍の広さとなったパン工房で、設備を確認する利用者ら



「あけぼの」 新施設開所

室蘭

施設の老朽化などで新築移転した室蘭市白鳥台の市障害者活動支援施設「あけぼの」（荒井昌彦所長）が2日、開所した。利用者やスタッフらはこれから始まる新生活に期待を膨らませている。

新施設は鉄骨平屋建てで延べ床面積838・774平方メートル。旧施設の1・7倍の広さ。事業の拡大や建物の老朽化のため、昨年10月から新築移転工事を始め、今年3月に白蘭

パン工房広さ2倍／浴槽も設置

小学校横に完成した。総工費は約3億円。

パン工房は約2倍の広さとなり、重度心身障害者のための浴槽などを新たに設け、利用者らがより快適に過ごせる造りとなっている。

この日は利用者やスタッフが施設内をきれいに掃除をしたり、パンを焼くオーブンの使い方などを確認していた。

荒井所長は「利用者に楽しんで社会参加をしていただけるよう、さまざまなサービスを提供していきたい」と意気込んでいた。（西川悠也）